

問1 大津宮で政治を行った天智天皇が作成した、日本で最初の全国的な戸籍を何という？

1. 戸籍法 2. 班田収授法 3. 庚午年籍 4. 計帳

問2 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？

1. 川中島の戦い 2. 白村江の戦い 3. 壬申の乱 4. 壇ノ浦の戦い

問3 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 公地公民 2. 口分田 3. 班田収授法 4. 租庸調

問4 飛鳥時代に摂政として政治を行い、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 蘇我馬子 2. 藤原不比等 3. 中臣鎌足 4. 聖徳太子

問5 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 大宝律令 2. 大化の改新の詔 3. 十七条の憲法 4. 御成敗式目

問6 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？

1. 氏姓制度 2. 中央集権 3. 封建制度 4. 地方分権

問7 百済などの朝鮮半島諸国から、高度な技術や学問を持って日本へ移り住み、飛鳥時代の国づくりに貢献した人々のことを何という？

1. 豪族 2. 年寄 3. 庄屋 4. 渡来人

問8 法隆寺が位置しており、飛鳥文化の中心地でもあった現在の都道府県はどこ？

1. 奈良県 2. 大阪府 3. 京都府 4. 滋賀県

問9 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？

1. 興福寺 2. 法隆寺 3. 薬師寺 4. 東大寺

問10 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 聖武天皇 3. 天武天皇 4. 桓武天皇

問11 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？

1. 天智天皇 2. 聖武天皇 3. 天武天皇 4. 持統天皇

問12 推古天皇が才能や功績によって役人を登用するために定めた制度を何という？

1. 大宝律令 2. 十七条の憲法 3. 班田収授法 4. 冠位十二階

問13 天皇に権力を集中させ、全国を統一的に支配する国づくりを目指す体制を何という？

1. 連合国家 2. 中央集権国家 3. 都市国家 4. 封建国家

問14 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 大仏様 2. 和様 3. 左右対称 4. 禅宗様

問15 聖徳太子が、家柄にこだわらず才能や功績のある人物を役人に登用するために定めた制度を何という？

1. 冠位十二階 2. 大化の改新 3. 班田収授法 4. 大宝律令

答え合わせ・解説

問1	答え 3 庚午年籍	670年（庚午の年）に作成された「庚午年籍」は、日本で初めて全国規模で作成された戸籍です。これにより、政府は誰がどこに住んでいるかを把握し、兵役や租税を課するための基礎資料としました。この正確な戸籍の作成が、後の班田収授法の実施へとつながる重要な足がかりとなりました。
問2	答え 2 白村江の戦い	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島での影響力を失い、次に唐が日本へ攻めてくることを恐れるようになりました。
問3	答え 1 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問4	答え 4 聖徳太子	聖徳太子は推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を中心とする秩序を作ろうとしました。また、仏教を深く崇敬し、法隆寺などを建立して文化の発展を支えました。
問5	答え 3 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。
問6	答え 2 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問7	答え 4 渡来人	渡来人は、漢字や儒教、仏教などの学問のほか、機織り、金属加工、土木技術、須恵器の製作法など、高度な知識や技術を日本にもたらしました。彼らの技術は、大和政権の国づくりや、寺院の建設、都市計画に不可欠なものとなりました。
問8	答え 1 奈良県	奈良県には法隆寺のほか、飛鳥寺や四天王寺などの初期仏教寺院が建てられ、大陸文化の影響を受けた美術が発展しました。この地域の独自の風土から、日本の古代文化が形作られていきました。
問9	答え 2 法隆寺	法隆寺は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録された歴史的建造物であり、釈迦三尊像などの飛鳥彫刻の名品も多く収められています。
問10	答え 3 天武天皇	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。皇親政治を行いながら、律令制度の導入に向けた整備や、歴史書の編纂を命じるなど、国家としての骨格作りを行いました。
問11	答え 1 天智天皇	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。特に、日本で初めて全国的な戸籍である「庚午年籍」を作成したことは、国が国民を把握し、税を確実に徴収するための非常に重要な転換点となりました。
問12	答え 4 冠位十二階	603年に制定されました。役人に位を表す冠を与え、その色は徳・仁・礼・信・義・智の儒教的な道徳に基づく階層を示しました。これにより、有力豪族だけでなく、能力のある人物を政治に参加させる道が開かれました。
問13	答え 2 中央集権国家	中央集権国家とは、天皇や朝廷が中心となって、全国の土地や人民を管理し、法律に基づいて統治を行う体制のことです。冠位十二階や公地公民といった制度は、まさにこの体制を実現するための手段でした。
問14	答え 3 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問15	答え 1 冠位十二階	603年に制定された冠位十二階は、役人に大徳から少信まで12のランクを設け、色分けされた冠を授けることで地位を表す制度です。家柄ではなく実力で地位が決まる仕組みを作ることで、朝廷への忠誠心を高め、有能な人材を活用することを目指しました。